

【様式第4号】

令和7年度 第3回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 こども部会 議事録	
日時	令和8年2月4日(水) 10:00~11:30
開催場所	保土ヶ谷区役所 202会議室
出席者	ゆめのね、保土ヶ谷区基幹、保土ヶ谷支援学校、上菅田地域ケアプラザ、保土ヶ谷区こども家庭支援課、左近山特別支援学校、コペルプラス天王町、en 和田町、パレットハウス和田町、ウィング西谷、りあん、あけぼの園
欠席者	
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u>
議題	<p>◎令和7年度 第3回こども部会</p> <p>【テーマ】今年度の振り返りと次年度に向けて</p> <p>1. 挨拶 (基幹遠藤氏より)</p> <p>本日は今年度の振り返りと次年度の計画作成のため、皆様の意見をうかがいたい。</p> <p>○障害児通所事業所案内冊子『ほどびっこ』について</p> <p>近日中に完成版が出来上がる。本日は白黒で印刷した物を参考に配布。実際のはA4サイズでカラー印刷。500部発注。</p> <p>皆様にいただいた情報を反映している。</p> <p>一部ずつ各事業所にお配りするので、多めにほしい方は基幹に教えてほしい。近隣の事業所には基幹が渡しに行く。遠いところは郵送する。</p> <p>区役所や基幹、ケアプラザ等にもおく。</p> <p>自立協のホームページに掲載予定だが、デザインは変わる。(ラクスルに発注したものをそのまま掲載できないため)</p> <p>次年度は新たにホームページを作成する。</p> <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回掲載されていない事業所について。 <p>→今回は期限内に協力いただいた事業所のみで作成。今後ホームページ作成に伴い、改めて協力を依頼する。</p> <p>2. 今年度振り返り</p> <p>3回本会議を実施。①放デイ交流会、②勉強会(事例検討)、③振り返り。</p> <p>予算は冊子制作へあてている。</p> <p>○出席者より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討、勉強になった。またやってほしい。地域療育センターや、地域の小学校のことを知りたい。 ・定期的に参加できた方が、顔を覚えられて良い。 ・事例検討がよかった。参加しやすい。放デイ児発の横のつながりも良いが、事例検討を深めたい。 ・区ごとに違った取り組みをしている。事例検討をすると色々な視点、立場から話ができる。行政、学校、事業所、地域の方。不登園や学校に行くことが難しい方、家庭に課題がある方がいる。児童相談所や、行政の中に連携できる場所がある。

各部署が何をされていて、どんな連携ができるか知りたい。

・家庭の問題があって複雑化している。他の機関とどう連携していくのか。事例検討できると良い。また、各事業所の特徴を発信できるといい。

・児相の方に話をきいたり、性の勉強会や学校見学に行くのはためになる。合わせて、顔を合わせて横のつながりを持てると良い。気軽に繋がれる貴重な場。また、保土ケ谷区のニーズを知りたい。境界域の児や不登校など、地域のニーズがわかるためになる。管理者としては、勉強会は職員を参加させやすい。回数がもう1、2回多くても良い。

・事例検討では知らない視点の話をきくことができ、刺激的だった。施設に持ち帰って再討論した。他の職員にも参加してもらいたい。事例検討はコミュニケーションの場にもなる。

○事務局より

・次年度も勉強会は行いたい。グループワークをしてどうしたら連携できるか、繋がれるかワークができた。今後も横のつながりを持てる機会を作りたい。顔の見える関係性が、子どもの支援につながると思う。

・お互いを知る機会になったので、参加してよかった。他の部会ともつながりを持てるといい。こども部会が支援者の横のつながりを持てる機会になるといい。

・今年度は放デイの方に参加してもらえてよかった。他職種の力を借りないと難しい案件が増えている。それぞれの専門分野の方にきてもらい話をきいたり、スーパーバイザーを呼んで事例検討ができると良い。

・放デイと地域ケアプラザの横のつながりを作ることができた。地域で暮らしている障がいのあるお子さんについて、心配と相談があった時どこにつなげばよいか知識を深めることができた。

・色々な区の自立協に参加している。区ごとのカラーがある。事例検討に計画相談員が入ってもらえると良い。

・横のつながりを持つこと、マップの作成という目標は達成できた。課題抽出は行うことができなかった。掘り下げないと出てこないなので、次年度深掘りしたい。ほっとフレンズのボランティア講座を地域に広げられるとよい。こども部会とコラボも考えたい。

ワークがあったから横のつながりができた。事業所のいいところ、特徴を持ち帰ることができた。それぞれの事業所で良い支援をされている。相談できる場所がない、抱え込んで大変。区役所や基幹、学校に相談できる関係性になれるとよい。障害児相談支援の相談員が少ない。そこがもうちょっと増えていけば、コーディネーターする役割を担ってもらえる。増えないとチーム支援が難しい、課題を感じた。事例検討、成人の事業所も一緒にできると良い。他の部会とコラボして、広げていきたい。

3. 次年度計画

○次年度についての意見

・制度やサービスについて知れるとよい。児童相談所や地域療育センターに来てもらう等。

・見学会、学校に行けるといい。以前見学してためになったし、環境を見てヒント

を得た。左近山特別支援学校など行ってみたい。

- ・通級や個別支援、一般級、小学校の先生と話したい。
- ・成人部会とのコラボ。障害児から成人へ移行は課題が大きい。
- ・保護者が精神疾患の方多く関わるので、精神障害の部会も学びが多い。
- ・他の部会にスポットで参加することもできる。つながりが増えてよい。
- ・こども部会は放デイの方が参加しやすいよう、午前中に設定。
- ・事例検討したいという意見多かったので、勉強会は続ける。

○次年度計画

6月に交流会。テーマを設けて話をする。

9月と12月に勉強会（事例検討、見学会）。

2月に振り返り。

時間帯は午前中。

今月末までに計画案を作成し、3月の自立協担当者会議でお示しする。5月の全体会で確定版を共有。

○事務局について

事務局募集中。事務局は本大会議と、1、2か月に1回の事務局会議がある。顔の見える関係が作れる。色々な事業所にやっていただきたいと思っているので、希望する方がいれば基幹に教えてほしい。基幹から声かけもさせていただく。

4. その他、インフォメーション等

（その他質問）

・部会に別の職員が参加する、また人数が増える場合は事前に連絡した方がよいか。

→事前に分かっていたら連絡がほしい。間に合わなければそのまま来ていただいてよい。

・放デイの空き状況

→各事業所空きがない。

・新小学1年生の放デイ相談のタイミング

→早すぎると調整できない。特総センターに行き、学校が確定した後、11月、12月が望ましい。

【次回】

次年度の予定は決定次第、3月頃に共有。ホームページにも掲載する。